

国内発生91例目 CSF(豚熱)

栃木県で患畜を確認!

<発生農場の概要>

・所在地: 栃木県那須塩原市 飼養状況: 約16,000頭

<経緯>

- ・栃木県は、同県那須塩原市の農場から5月24日夜に通報を受け、25日当該農場に立ち入り、検査を実施
- ・検査により豚熱の疑いが生じたため、国の研究機関で精密検査を実施したところ、26日、豚熱の患畜であることが判明

<野鳥・野生動物による侵入の防止>

- ・畜舎には2cm角以下の網目の防鳥ネットを設置し、間隙を塞ぎましょう。
また、破損が見つかったら、直ちに補修しましょう。
- ・防鳥対策と同様、間隙を塞ぎ、ネズミの侵入を防止しましょう。
- ・ネズミを見つけた場合、その侵入経路を見つけ、捕獲装置の設置、殺鼠剤の使用により駆除しましょう。
- ・畜舎周辺、農場敷地周縁及び農場内道路へ消石灰を散布しましょう。
- ・畜舎の中に入ったら、すぐに扉を閉めましょう。
- ・県内で、死亡イノシシからCSFが検出されています。
より一層の警戒をお願いします。

① 早期発見・早期通報

② 家畜飼養農場の 防鳥ネット・防護柵等 の再度の確認、
人・車両の出入りの際の 飼養衛生管理の強化

③ 農場周辺の消石灰散布など 消毒の徹底 等による
農場へのウイルス侵入防止の徹底

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018

野生動物対策



農場を囲う柵を設置するとともに、破損などがいないか定期的に点検。

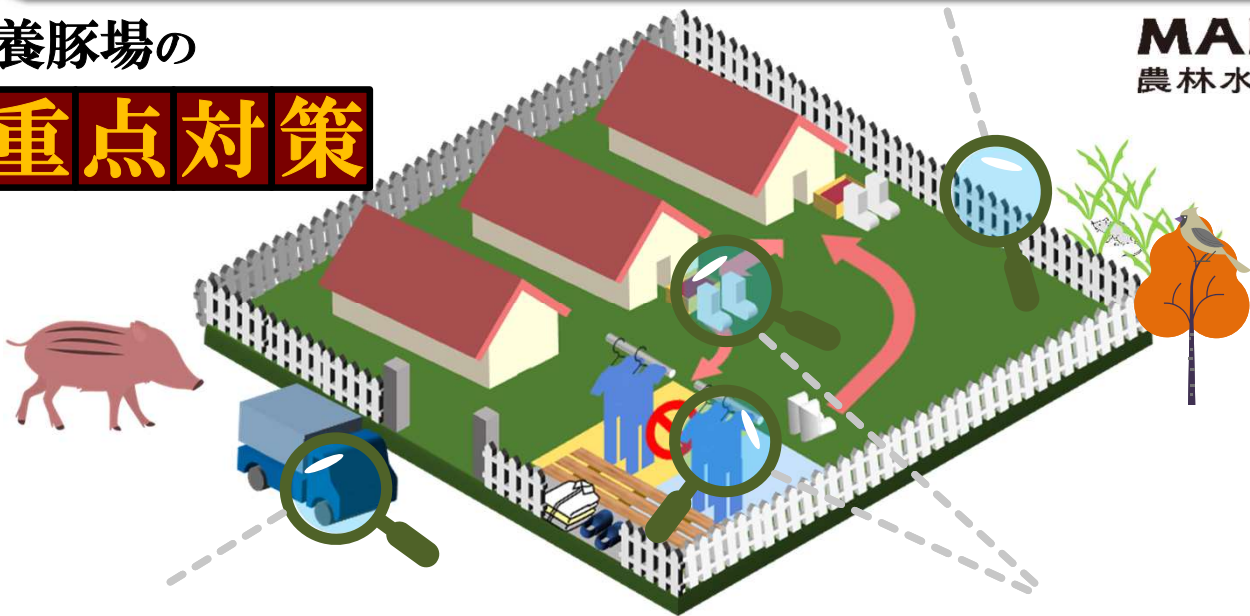
農場辺縁を含め敷地内の草刈りや枝の剪定を行い、野生動物が隠れる場所を作らない。

死亡家畜は野生動物を誘引しないよう適切に保管。

養豚場の

重点対策

MAFF
農林水産省



農場内や進入車両の消毒



畜舎周囲・農場外縁部に定期的に石灰を散布。

車両の洗浄・消毒も忘れない。車体、タイヤ周りや溝の汚れをしっかりと落とす。

更衣・履き替えの徹底



洗浄・消毒された衛生的な衣服や長靴を用意。

長靴は履き替えを徹底し、使用後は洗浄してから消毒し、消毒薬は定期的、または汚れた都度交換。